

H15年度 血清検査報告

梅毒 HB sA g HCV ab

村澤 利延

参加施設と試薬数

✍	梅毒脂質抗体	86	施設	92	試薬	(5)
✍	HBs 抗原	97	施設	117	試薬	(20)
✍	梅毒TP 抗体	86	施設	102	試薬	(13)
✍	HCV 抗体	93	施設	116	試薬	(23)

梅毒脂質抗体

✍ 試料 A 陰性
定性検査結果

試料 B 陽性

	(-)	(+ -)	(+)
試料 A	92	0	0
試料 B	15	14	63

試薬別採用数と結果 STS1

	数	試料 B	(-)	(+ -)	(+)
 三光	51		1	5	45
 ヤトロン	16		4	4	8
 ガラス板	8		0	1	7
 カ - ボン法	2		0	0	2
 凝集抗原	1		0	1	0
 コクサイ	2		0	1	1
 ニュウカルジ	2		0	2	0
 S-Rカード	2		2	0	0

試薬別採用数と結果STS 2

	数	試料B ()	(+)	(+)
✍️ メディエース	6	6	0	0
✍️ ランルーム	2	2	0	0

梅毒 TP抗体

✍ 試料 A 陰性 試料 B 陽性
定性検査結果

	()	(+)	(+)
試料 A	102	0	0
試料 B	0	2	100

試薬別採用数と結果 TP抗体 1

試料 B

	数	()	(+)	(+)
ダイナスクリン	19	0	1	18
TPクロマトクイック	14	0	1	13
イスブライン	13	0	0	13
オリゴファスト	1	0	0	1
セロディアTP	12	0	0	12
セロディアTPPA	8	0	0	8
マイクロTPHA	3	0	0	3
HA抗原	1	0	0	1

試薬別採用数と結果TP抗体 2

	数	()	(+)	()	(+)	()
ルミパルス	11	0	0	0	0	11
メディエース	8	0	0	0	0	8
ランリム	6	0	0	0	0	6
TPオートF	3	0	0	0	0	3
ルミスポット	1	0	0	0	0	1
イムノテイクルス	1	0	0	0	0	1
セラテストム	1	0	0	0	0	1

HB 抗原

📄 試料 A 陰性

試料 B 陽性

📄 定性結果

試料 A

試料 B

()

117

5

(+)

0

1

(+)

0

111

試薬別採用数と結果HBs抗原1

試料 B	数	()	(+)	(+)
✍ エスプライン	23	0	0	23
✍ クイックチェーサー	19	3	1	15
✍ ダイナスクリン	17	0	0	17
✍ オリゴファスト	3	2	0	1
✍ アキシム	17	0	0	17
✍ ルミハルス	14	0	0	14
✍ アーキテクト	6	0	0	6
✍ ランリーム	5	0	0	5

試薬別採用数と結果HBs抗原2

試料B	数	(-)	(+)	(-)	(+)
✍ エルジア	4	0	0	0	4
✍ コハスコア	2	0	0	0	2
✍ ルミスポット	1	0	0	0	1
✍ スファライト	1	0	0	0	1
✍ IMXダイナバ	1	0	0	0	1
✍ エクルーシス	1	0	0	0	1

試薬別採用数と結果HB s抗原3

✍ 試料B	数	(-)	(+ -)	(+)
✍ インザグノスト	1	0	0	1
✍ R-PHA日赤	1	0	0	1
✍ クイックビーズ	1	0	0	1

HCV抗体

✍ 試料A 陽性

試料B 陰性

定性結果	(-)	(+ -)	(+)
試料A	0	0	116
試料B	116	0	0

試薬別採用数と結果HCV抗体1

		A		B	
	数	(-)	(+)	(-)	(+)
クイックチェサ	51	0	51	51	0
アキシム	20	0	20	20	0
ルミパルス	14	0	14	14	0
アーキテクト	6	0	6	6	0
ランリーム	6	0	6	6	0
イムチェック	5	0	5	5	0
コハスコア	2	0	2	2	0

試薬別採用数と結果HCV抗体2

	数	A		B	
		(-)	(+)	(-)	(+)
IMXダイハ	2	0	2	2	0
オーソELISA	1	0	1	1	0
ルミスポット	1	0	1	1	0
PHAアポット	6	0	6	6	0
オーソPA	2	0	2	2	0

まとめ

- ✍ 用手法における内部精度管理を実施していない施設が多い。
- ✍ 血清検査における精度管理の第一歩は、試薬や分析装置の選定にある。
- ✍ 試薬・機器・手技など全てを網羅した内部精度管理の実施が望まれる（インフェクトロールの使用など）